

早い梅雨明けの後、真夏の暑さが続く中、1学期の終業式を迎えました。4月に新学年がスタートして4か月、日々の学校生活は充実していますか。授業、学校行事、部活動…に打ち込めていますか。主体的に取り組めば取り組むほど、得られるものも大きくなります。三者面談を経て、夏休みの過ごし方も明確になったことと思います。それぞれが自身の目標を達成できる有意義な夏になりますように。

硬式野球部・吹奏楽部・全国大会出場者の壮行会 7月2日

7月2日（水）、1学期期末考査終了後、11時から県総体等上位入賞者の表彰式を行い、続いて硬式野球部・吹奏楽部・全国大会出場者（レスリング部 山本情輔さん、宮本次飛さん、安井春琉さん、バドミントン部 関谷颯将さん、杉浦光貴さん、空手道部 福田真夕さん、ラグビー部 松畑孔晴さん）の壮行会を体育館で実施しました。最初に下村校長が「野球部は昨年度、強豪を相手にやればできるというところを見せてくれた。今年も昨年に続き新翔高校との合同チームで、統合後の新しい高校やクラブを象徴するチームとして、印象に残るような戦いをしてほしい。吹奏楽部は日頃の懸命な練習の成果を遺憾なく発揮して、関西コンクールへの出場権獲得を叶えられるよう頑張してほしい。全国大会へ出場する皆さん、今年は県予選や選考会でよく頑張り、人数も増えた。全国大会のレベルは高いが、どこまで通用するか思う存分戦ってほしい。新宮高校の名を全国に響かせよう。」と語りかけました。生徒会会長の神谷理斗さんは、「生徒全員が、皆さんが今までで一番の舞台で活躍されることを祈ります。」とエールを送りました。これらを受け、各クラブ出場者が、「皆さんからの応援が力となり、強くなれる。力を合わせて最高のパフォーマンスをしたい。」「全国大会で一つでも多く勝ちたい。」など、大会に向けての抱負を語り、健闘を誓いました。新高生の健闘を祈ります！



1 学年科目選択説明会 7月4日

7月4日（金）19時から会議室で、1学年保護者対象の科目選択説明会を行いました。約90名の保護者の方々が出席くださり、下村校長の挨拶の後、金井教務部長が2・3年次の教育課程や、進路希望と2年次の選択群における選択の仕方の関連性等について説明しました。



国連セミナー 7月4日



7月4日（金）7限目に1年生を対象に元国連世界食糧計画（WFP）のアジア地域局長である忍足謙朗（おしだりけんろう）氏による「世界とつながる国連セミナー」を実施しました。テーマは「国連から視る世界の不公平」です。今年度は各教室でオンラインにてお話を伺いました。世界の飢餓問題や紛争地への食糧支援について忍足氏の講話を聞きながら、世界の現状や今後について考えました。忍足氏は、「環境も経済も、世界はすべて繋がっている。困ったときはお互いさま。世界のことに関心を持ち、心のどこかで自分は世界の一市民であるという気持ちを持ってほしい。」と語られました。16時15分からは、場所を視聴覚3に移し、1～3年生の希望者を対象にオンライン座談会を行いました。参加した生徒たちは17時を過ぎるまで、途切れることなく忍足氏に質問し、質疑応答を繰り返しながら考えを深めました。大変有意義な時間となりました。



2 学年キャリアゼミナール 7月10日

7月10日（木）5・6限で、2学年対象のキャリアゼミナールを実施しました。進路希望や興味関心に応じて13の分野に分かれて講義や説明を受けました。興味深い内容が多く、進路実現に向けての取組を本格化させる時期にきている2年生にとって、自身に向き合い、進路について考えを深め、行動に繋げる良い機会になったことと思います。



山東師範大学生来校 7月10日

7月10日（木）9時半頃に、中国の山東師範大学生71名と先生9名が来校しました。会議室で下村校長より歓迎の挨拶を行い、訪問団代表の孫峰団長も挨拶されました。2限目には、生徒代表（池ノ本悠さん）の英語・中国語での挨拶の後、6グループに分かれて、校内の施設見学と授業見学を実施しました。3限目には、各HR教室（6クラス）で2学年全員との交流会を行い、山東師範大学生より山東師範大学や山東省等の説明をしていただいた後、自己紹介や折り紙、ゲームなど、準備してきたさまざまな形で積極的な交流がなされました。あっという間に打ち解けた雰囲気になり、授業時間が終わる頃には、名残を惜しむ姿があちこちで見られました。訪問団は12時前に本校を出発されましたが、とても貴重な経験となりました。



1 学期終業式 7月18日



7月18日（金）1・2限授業、一斉清掃の後に、1学期終業式をオンラインで行いました。終業式に先立って、新宮警察署による防犯講座がオンラインで行われ、SNSのなりすまし等を例に、犯罪に巻き込まれないよう注意喚起がなされました。終業式では、県民歌斉唱、校歌斉唱に続いて、下村校長が式辞を述べました。「各自で1学期を振り返って、成長した面はと考えるとき、何か一つはすぐに出てきてほしい。高校生の1日1日、1学期は貴重である。」と語りかけた後、「校歌」に話題を向け、スライドで校内にある校歌の額や歌碑を示しながら、「校歌」の由来や意義について述べられました。「校歌」は日本やアジア地域特有の文化らしいこと、学校の独自性を打ち出し、共同体意識を養えること等に触れ、「本校の校歌は北原白秋の門下生である藪田義雄さん作詞、著名な作曲家である平井康三郎さん作曲による素晴らしいものであり、統合校にも引き継がれるので、大切に歌っていこう。」と呼びかけました。そして、「この夏の取組が進路に直結していく3年生はもちろん、1・2年生も含めてしっかり勉強する夏休みにしてほしい。夏を経て、2学期始業式には成長した姿を見せてほしい。」と語られました。また、終業式後には生徒支援部長から夏休みの諸注意がありました。8月24日までの夏休み、健康には気をつけて、充実した時間を過ごしてください。



☆☆☆進路関係の説明会を実施☆☆☆



- 7月 2日 和歌山大学校内説明会
- 3日 和歌山県立医科大学保健看護学部校内説明会
- 4日 和歌山県立医科大学医学部校内説明会
- 7日 和歌山リハビリテーション専門職大学校内説明会
- 8日 和歌山県立なぎ看護学校校内説明会
- 9日 和歌山県立医科大学薬学部校内説明会
- 15日 共通テストAS①
- 17日 看護医療ガイダンス



「夕風」上映会 7月2日

7月2日(水) 12:15から、本校視聴覚3にて、希望者を対象に映画「熊野伝説Ⅲ 夕風」の上映会を行いました。「夕風」は熊野古道世界遺産登録20周年記念として、熊野映画を創る会により制作され、三輪崎海岸に伝わる物語を映画化されています。当日は、監督・キャストの皆さんもお越しくださり、直接お話を伺ったり、小道具の説明を受けたりすることができました。



第2回学校運営協議会 7月9日



7月9日(水)に、本年度の第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、学習支援部会・地域連携部会の二つの部会に分かれ、学習支援部会は5限目に研究授業(言語文化・1学年学彩探究科)を参観した後、6限目に研究協議と本校の学習指導のあり方等についての協議を行いました。地域連携部会は6限目に学校と地域の連携について協議を行い、15時からの全体会では、学校運営協議会の全委員が生徒ホールに集まり、それぞれの部会で協議した内容を共有した上で、今後の取組等について協議を深めました。「地域連携は、地域行事に参加するだけでなく、双方向に絡み合えるもの、ともに考えていけるものにしたい。」「実施した結果をふまえ、修正・改善をしてより良いものに。」「主体的な生徒を育てる授業・取組を行う中で、評価・分析をしておく必要がある。教職員が同じ意識を持つことが大事である。」「知識の獲得と探究的な学びのバランスが肝要。」等の意見をいただき、「深まり」「自分ごと」を共通項として確認しました。具体的な取組に繋がられる貴重な時間になりました。



研究授業 7月15日



7月15日(火) 3限に、1学年学彩探究科で数学Ⅰの研究授業が行われました。1学期はこれまで国語・地歴公民・数学・理科・英語・保健体育の6名の教員が、1学年の普通科・学彩探究科それぞれの学びの目標を意識し、学科に応じた授業改善を目指して研究授業を実施してきました。研究授業やその後の研究協議には、教科の枠を越えて多くの教員が参加し、より良い授業に向けて協議や実践を深めています。



CULTURAL EXCHANGE DAY 7月24日

7月24日(木) 15:00~16:30、第3回 CULTURAL EXCHANGE DAY ~つながろう ことばと心~というタイトルで、きのくに学びの教室の方々と、ESS生徒が交流しました。交流会では、フィリピン出身、スペイン出身の方々から、それぞれのお国の家庭料理等をふるまっていただきました。パイナップルの切り方を教えていただいたり、竹竿を使った遊びを教えてもらったり、にぎやかな交流会となりました。生徒たちは、それぞれの方々のお話に興味津々で、聞き入ったり、質問したりしながら、有意義な時間を過ごさせてもらいました。



新高国際交流DAY 7月31日



7月31日(木) 14:30から、第2回新高国際交流DAYのプログラム「世界の食卓から」が行われ、1~3年生9名が「きのくに学びの教室」に通う外国人8名の方と、食や文化を通じて交流を深めました。このプログラムは、昨年度から行われており、より身近な人々との交流を通じ、グローバル化に対応できる力を付けていくことを狙いとしています。自己紹介から始まり、続いて受講者が持ち寄った料理の紹介があり、皆で試食を楽しみました。また、それぞれの国や伝統行事の説明も行われ、生徒たちはメモを取るなど興味深く聞き、実際に体験もしました。

